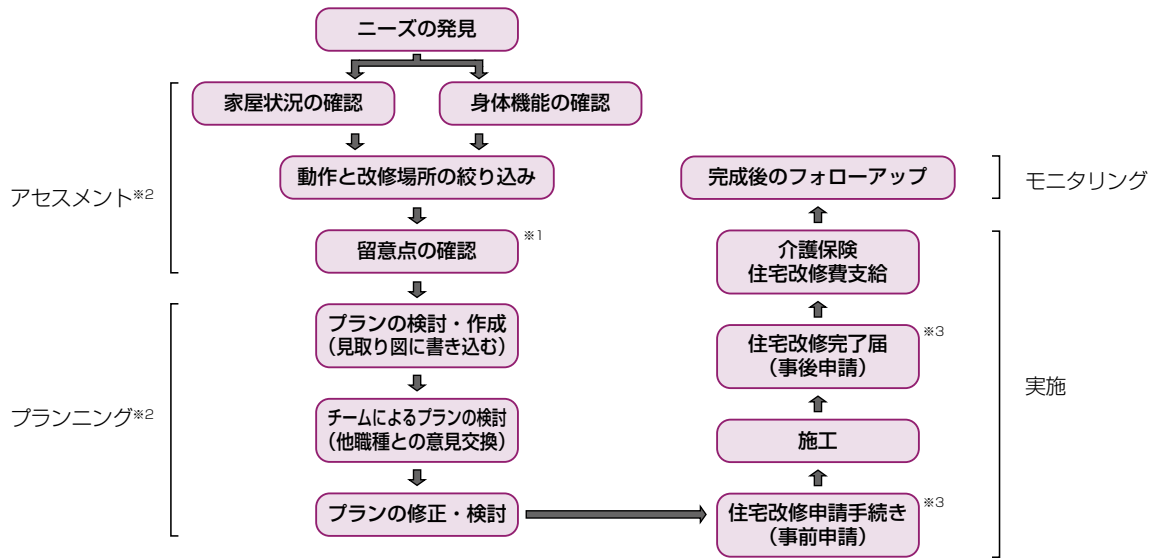


住宅改修の手順

住宅改修・福祉用具導入のプロセスは、ニーズの発見→アセスメント→プランニング→実施→モニタリングという一連の流れになります。

これを具体的なプロセスとして見ると、下図のようになります。

住宅改修の具体的なプロセス



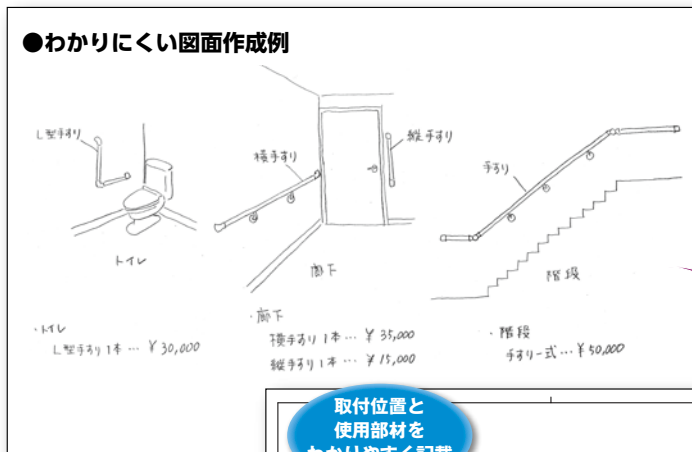
※1 8項目の留意点

- (1)福祉用具との適合
- (2)経済的な側面
- (3)家族の介護能力と生活
- (4)疾患による特性
- (5)身体機能の経時的変化
- (6)建物の条件
- (7)縁起ものへの配慮
- (8)キーパーソンの確認

※2 アセスメント、プランニングの間で住宅改修申請準備（住宅改修が必要な理由書）を行います。

※3 事前申請、事後申請は審査に時間がかかる場合があります。市町村の担当窓口にご確認の上、余裕を持って申請を行ってください。

施工計画書(図面)作成例



1本、1式などではなく、手すりのm数やブラケットの個数、メーカー品番までわかるように記載しましょう。

階	種別	品名	数量	単位	備考
1F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
2F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
3F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
4F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
5F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
6F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
7F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
8F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
9F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし
10F	手すり	取手付き	12.00m	m	取手付き
		取手なし	1.00m	m	取手なし

- バリアフリー
- 金物
- 接着・テープ・清掃・補修
- 水まわり
- 防犯
- 耐震・防災
- 収納・内装
- ペット用品
- 建築資材
- 道具・工具
- お役立ちコーナー

豆知識

ご利用方法

住宅改修申請手続きの中で「住宅改修が必要な理由書」及び「施工計画書(図面)」の作成が重要なウエイトを占めています。

■「住宅改修が必要な理由書」作成の流れ

理由書は、手順に従って作成しながら、住宅改修のプランを検討するために、収集すべき必要な情報が何か分かるように構成されています。
理由書作成にあたっては、住宅改修後の暮らし方を明確にすることから始まり、生活活動、動作レベルの具体的状況を把握し、最終的に改修項目や改修箇所を明確にしていきます。

介護保険申請書類の作成は **ファースト** 事務 **簡単** 時間で **時短**
 介護保険申請書リンク集
 詳しくは Web サイトへ <https://www.firstreform.com>

住宅改修が必要な理由書

住宅改修が必要な理由書 記入例 P1

※理由書の様式は市町村によって指定されている場合があります。申請の際はご確認の上、指定の様式にて提出してください。また記入内容についても市町村によって指導内容が異なる場合があります。市町村によくご相談の上、記入してください。

利用者	被保険者番号 2XXXXX	年齢 78歳	生年月日 明治 19年 10月 10日	性別 男 <input type="checkbox"/> 女 <input checked="" type="checkbox"/>	現地確認日 令和4年4月2日	作成日 令和4年4月2日
作成者	被保険者氏名 松六 花子	要介護認定(該当コード) 1・2	要支援 1・㊟・3・4・5	要介護	所属事業所 天玉身サマサービス	
	住所 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺町D目△番□号				氏名 介護 春子	連絡先 06-6974-XXXX

確認日 令和 年 月 日 評価欄

利用者氏名

利用者身体状況
 脳梗塞、両変形性膝関節症。
 令和〇〇年〇〇月〇〇日、脳梗塞による脳障害との診断を受けて入院したが麻痺はなく、〇月〇日に退院。
 現在、起き上がりにはものにつかまらば可能な立ち上がり時に左膝疼痛あり。特に上がりかまち段差の昇降は介助がないと難しい。
 屋内歩行はゆっくりだが、つたい歩きが可能な屋外移動は車椅子を介助により使用〇〇リハビリテーションにて回復の可能性あり。

介護状況
 夫婦で居住。夫が介助を行っている。
 現在は排泄についてはポータブルトイレを利用している。

住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか
 トイレで排泄したい。外出に関しては、妻や娘の援助を受けることとするが、今後は通所リハビリテーションを利用していきたい。
 住宅改修を実施することにより、排泄の自立を第一目標とする。さらに介護者の希望である、外出時の負担軽減を図り、外出機会の増加を検討している。

福祉用具の利用状況ととも
 改修後、利用が想定される福祉用具をシ点チェックする。

福祉用具の利用状況ととも	改修前	改修後
●車いす	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●手すり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●認知症老人徘徊感知器	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●腰掛便座	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●特殊器具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●その他	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※一般社団法人シムル(サービス振興会)作成(「住宅改修が必要な理由書」作成の手引き)による

住宅改修が必要な理由書 記入例 P2

※理由書の様式は市町村によって指定されている場合があります。申請の際はご確認の上、指定の様式にて提出してください。また記入内容についても市町村によって指導内容が異なる場合があります。市町村によくご相談の上、記入してください。

<P1の「総合的状況」P.①-④を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④回収項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(～なので困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(～することで、が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	<input checked="" type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 衣類・靴脱	・移動はつたい歩きでなんとか可能な左膝に痛みが生ずることが多い。 ・出入口はもつちかまらば可能な立ち上がり時に左膝疼痛あり。特に上がりかまち段差の昇降は介助がないと難しい。 ・ポータブルトイレを使用しているが、使いたくない。現状では、便器への立ち座り及び床への着座が困難なため、トイレの改修を検討している。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかつたことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 手すりの取付け(廊下の移動経路) <input checked="" type="checkbox"/> 便器様の壁(立ち座り、衣服着脱用) <input type="checkbox"/> 上がりかまち階段面 <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え(寝室引き戸を引き戸へ取替え)
入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室出入口の出入(扉の開閉を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 今回改修の対象でない項目にはシ点チェックする必要はない。 <input type="checkbox"/> その他()	●本日は…したいのだが、実際には…しかできないので、…について困っているというように具体的に記述する。 ●生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極めること。果たさなければ「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても確認する。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかつたことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 便器 <input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 手すり
外出	<input checked="" type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input checked="" type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input checked="" type="checkbox"/> 車いす等、装具の脱着 <input checked="" type="checkbox"/> 履物の脱着 <input type="checkbox"/> 出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()	・上がりかまちに1.5cmの段差があり、介助がないと昇降できないので、困っている。 ●「動作」のレベル(例えば、「立ち上がる」「歩く」「車いすを押す」「まくら」「段差昇降」「扉を開閉する」など)で、それがどのように困難なのかを具体的に記述する。	<input checked="" type="checkbox"/> できなかつたことをできるようにする <input checked="" type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 便器 <input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 手すり
その他の活動	<input type="checkbox"/> 「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の活動の生活動作を記述する。 (例えば「調理台までの移動」や「洗濯洗濯機からの洗濯物の取り出し」など)		<input type="checkbox"/> できなかつたことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け <input type="checkbox"/> 便器 <input type="checkbox"/> 引き戸等への扉の取替え <input type="checkbox"/> 段差の解消 <input type="checkbox"/> 手すり

※一般社団法人シムル(サービス振興会)作成(「住宅改修が必要な理由書」作成の手引き)による

「住宅改修が必要な理由書」の特徴

- 特徴1 生活改善の目標設定から住宅改修の方針決定までには段階があり、その段階をおって作成できる。
- 特徴2 生活活動ごとの個々の生活動作に着目することで、幅広く生活全般をチェックすることができ、困難な生活動作の改善のための方針にそって、改修項目を具体化することができる。
- 特徴3 住宅改修の目的を明確にすることができ、その目的を達成できたかの評価を改修後に行うことができる。

Webサイトから
 介護保険マニュアルをダウンロードできます。
<https://www.firstreform.com>



豆知識
 ご利用方法